

3月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL http://www.atsutajingu.or.jp

今年も豊作でありますように

祈年祭(きねんさい)

祈年祭は五穀豊穰と産業の繁栄を祈るお祭りです。このお祭りは「トシゴイノマツリ」ともいい、この「トシ」とは稲を示し、その実り豊かならんことを意味します。当日は、県下の篤農家で組織された熱田神宮豊年講の皆さんをはじめ、農業関係者多数が祭典に参列します。

3月17日(水)
午前10:00

本宮・別宮・摂末社

祭典・神事



烏喰の儀と韓神舞を奉納

御田神社(みたじんじゃ)祈年祭

五穀豊穰の神様である大年神(おおとしのかみ)をお祀りする御田神社の祈年祭では、祭典の前に、「ホーホー」と唱えながらお供物を土用殿の屋根に投げ、鳥にお供物を食べさせる所作をする「烏喰(おとぐい)の儀」が行われます。又、祭典中には「韓神舞(からかみのまい)」という、独特の所作をする舞が執り行われる、非常にめずらしいおまつりです。

○古くは、烏喰の儀のお供物を、鳥が飛んできて食べなければ、祭典が行われなかったとも伝えられています。

3月17日(水)
午後2:00

御田神社

祭典・神事



お氷上さんの愉快的な神楽

氷上姉子神社太々神楽(だいだいかぐら)

緑区大高町に鎮座する当神宮摂社の氷上姉子神社で、東海地方に広く伝播した熱田神楽を奏し、農作物の豊作を祈願します。当日は追儺・招福などを祈る六種の神楽を神前で奉奏します。

○この神楽は江戸時代中期頃より始まったといわれ、明治初年まで熱田神宮の神前でも奉納されていました。その後は神楽元に引き継がれて、やがて市南部に普及し氷上姉子神社でも行われるようになりました。

3月28日(日)
午後2:00

氷上姉子神社(境外摂社)

祭典・神事



神職としての巣立ち

熱田神宮学院卒業式

3月19日(金)
午前9:15

熱田神宮学院

行事

2年間にわたり当神宮で修業し、神職の資格を取得した熱田神宮学院生6名が、全国各地の神社へと巣立ちます。午前9時15分に本宮参拝、次いで祈祷殿にて卒業奉告祭、引き続き10時30分より学院に於いて卒業証書授与式を行います。

○本学院は昭和25年に創立され、これまで約660余名の神職を全国に輩出しています。



熱田神宮宝物展 2・3月平常展

特別陳列 第14回 東海現代刀匠刀剣展

2月17日(水)~3月30日(火)
午前9:00~午後4:30

宝物館

宝物展示

主な展示品[◎重文、○県文]

◎日本書紀(巻第十五)、◎黒漆根古志形鏡台、◎錦包挿鞋、◎太刀 銘 宗吉作、◎太刀 銘 備州住長船兼光など、約30点を陳列。併せて新館では、岐阜・静岡在住の現代刀匠の力作、約30口を陳列。

○入館料 ・大人300円(250円)、小中学生150円(100円)
()内は20名以上の団体料金
・入館は午後4時10分まで



文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

3月20日(土)
午後2:00~午後4:00

文化殿講堂

教養

演題 江戸時代の武士社会

講師 茨城大学 准教授 磯田道史氏

○聴講無料

